

各位

上場会社名 株式会社 大田花き
代表者 代表執行役社長 磯村 信夫
(コード番号 7555)
問合せ先責任者 執行役管理本部長 金子 和彦
(TEL 03-3799-5571)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,147	166	186	119	23.58
今回修正予想(B)	27,414	62	101	66	13.10
増減額(B-A)	△732	△104	△84	△53	
増減率(%)	△2.6	△62.5	△45.4	△44.4	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	27,316	184	226	117	23.01

修正の理由

花の消費が増える需要期(母の日、お盆、お彼岸、年末)すべてにおいて計画していた売上目標に達しなかったことで、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を大幅に下回る見通しとなりました。

かつては需要期になると、引き合いが強まり卸売価格が上昇しましたが、昨今は価格の上昇幅が小さく、特に今年度はその傾向が顕著でありました。

需要期の売上減少を補うべく、特定の年中行事だけではなく、習慣的に家庭に花を飾ってもらう「ウィークエンドフラワー」など業界団体が行っている活動を後押しし、生花小売店とともに販売促進に取り組むなどしましたが、十分な成果が出るには至らず、売上は減少しました。

販売費及び一般管理費については、コスト削減に努めており、当初見込みを下回る予想ではありますが、売上の減少に伴う利益の減少を補うほどではなく、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれもが連動して減少する見込みです。

※上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上